

風土記の丘の花だより²⁴⁷

今、そしてこれから見られる植物(2024年8月3日)

それにしても連日の猛暑、酷暑。こんなに暑い日が続く夏は経験したことがありません。風土記の丘に歩きに来られる方も、心なしか少なくなったように感じます。みなさん本当にくれぐれも熱中症に気をつけてくださいね。



谷山家の庭で今年もきれいなカノコユリが咲きました。カノコとは「鹿の子」のことです。バンビちゃんの斑点模様が、このユリの模様に似ているからだというのですが、それほど似ていないようにも思いますね。まだまだたくさんのツボミがついているので、しばらくは花を楽しめそうです。この時期のユリではタカサゴユリも見頃になってきます。そろそろ咲き始めています。外来植物で、やっかい者扱いもされますが、花は清楚できれいですね。どちらも楽しんでください。



クサギの花も咲いています。「臭い木」という不名誉な名前ですが、花は本当に涼やかです。毎年よく咲く、万葉植物園入り口手前の木は、残念ながら虫が入って半分ほど枯れています。それで花数がいつもより少ないですが、近くには小さな木も何本かあって、どれも花を付けてくれています。もうすぐこの花の香りに誘われて大きくて黒いアゲハの仲間が集まってくることでしょう。暑さに負けずきれいな花を咲かせてくれることに、ありがとう ですね。



水辺に生える春の七草の一つ、セリの花が万葉植物園で咲いています。セリはまだ寒い季節に摘んで、芹鍋にして、香りを楽しみながら召し上がる方も多くいらっしゃると思いますが、こんな時期に花が咲くのですね。辺りを見渡すと、秋の七草のキキョウやクズも咲いているし、万葉の昔と比べると、季節がかなり乱れてきているようですね。セリは野菜ではニンジンやパセリなどと同じ仲間ですから、花もそっくりですね。ガマなどの水生植物が植えられているコーナーの左の方に少し生えています。



トゲトゲのタラノキに花が咲いています。と言っても「どれが花なんだ？」と言われそうです。写真でもわかりにくいですが、中央に白っぽく見えるゴチャゴチャとしたのが花です。万葉植物園にはあと一つトゲトゲの木、カラスザンショウがありますので、間違わないでください。タラノキは春先に新芽を「たらのめ」として食べますが、その時期以外はやっかいな木です。ですから、この花も余り注目されないでしょう。見つけたら愛でてやってください。 松下